

論文 / 著書情報
Article / Book Information

論題	大学IRに必要なことー目的・体制・スキルー
著者	森雅生
出典	researchmap シンポジウム2015, , ,
発行日	2015, 9

大学IRに必要なこと

—目的・体制・スキル—

森 雅生（東京工業大学 情報活用IR室）

researchmapシンポジウム2015—自らの強み・特色を知るために
～これからの大学IRとは？～

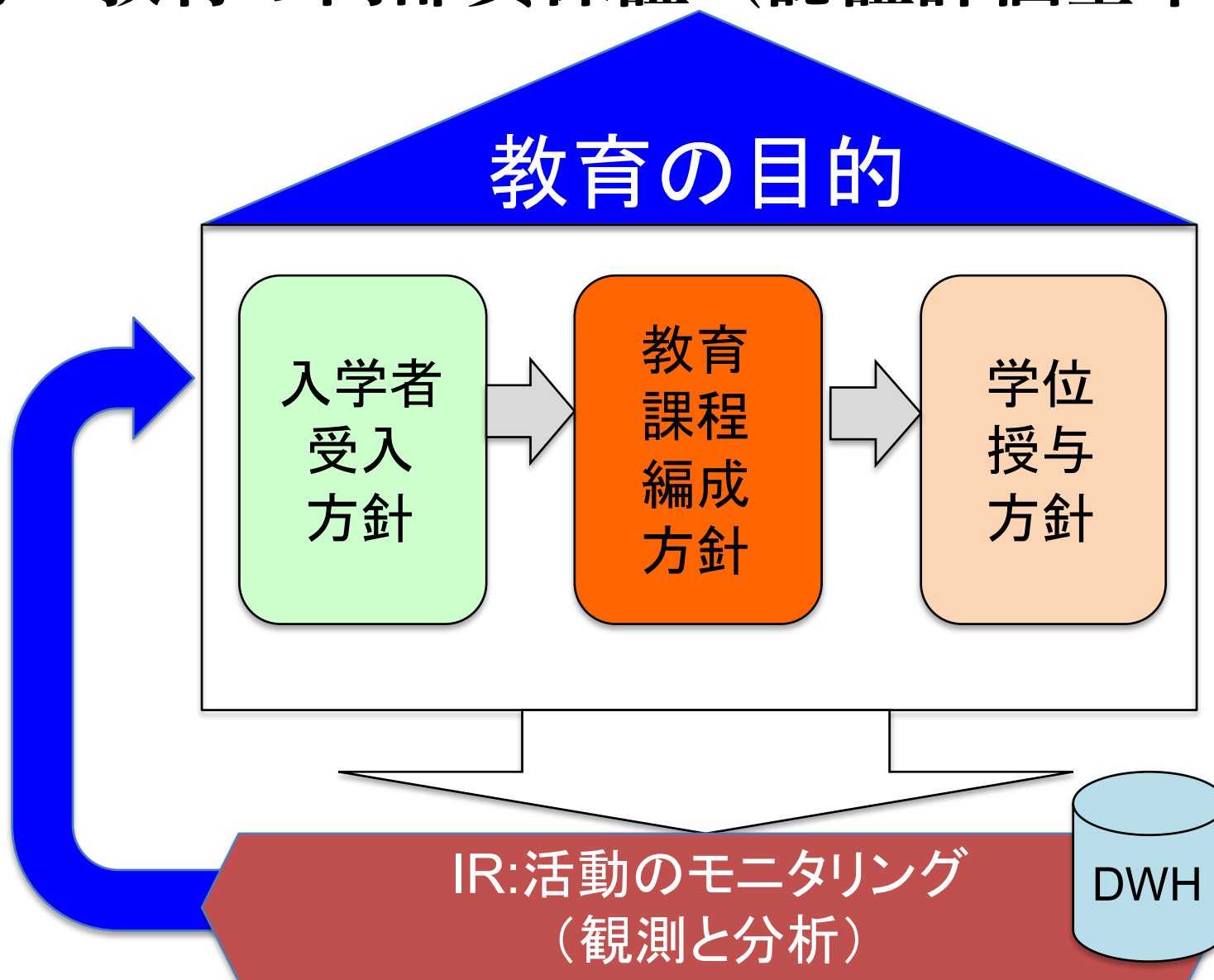
「機関の意思決定、計画策定に資する情報を提供すること」

Saupe (1990)

IRの目的

目的：教育の内部質保証（認証評価基準）

データ分析に基づく評価と改善

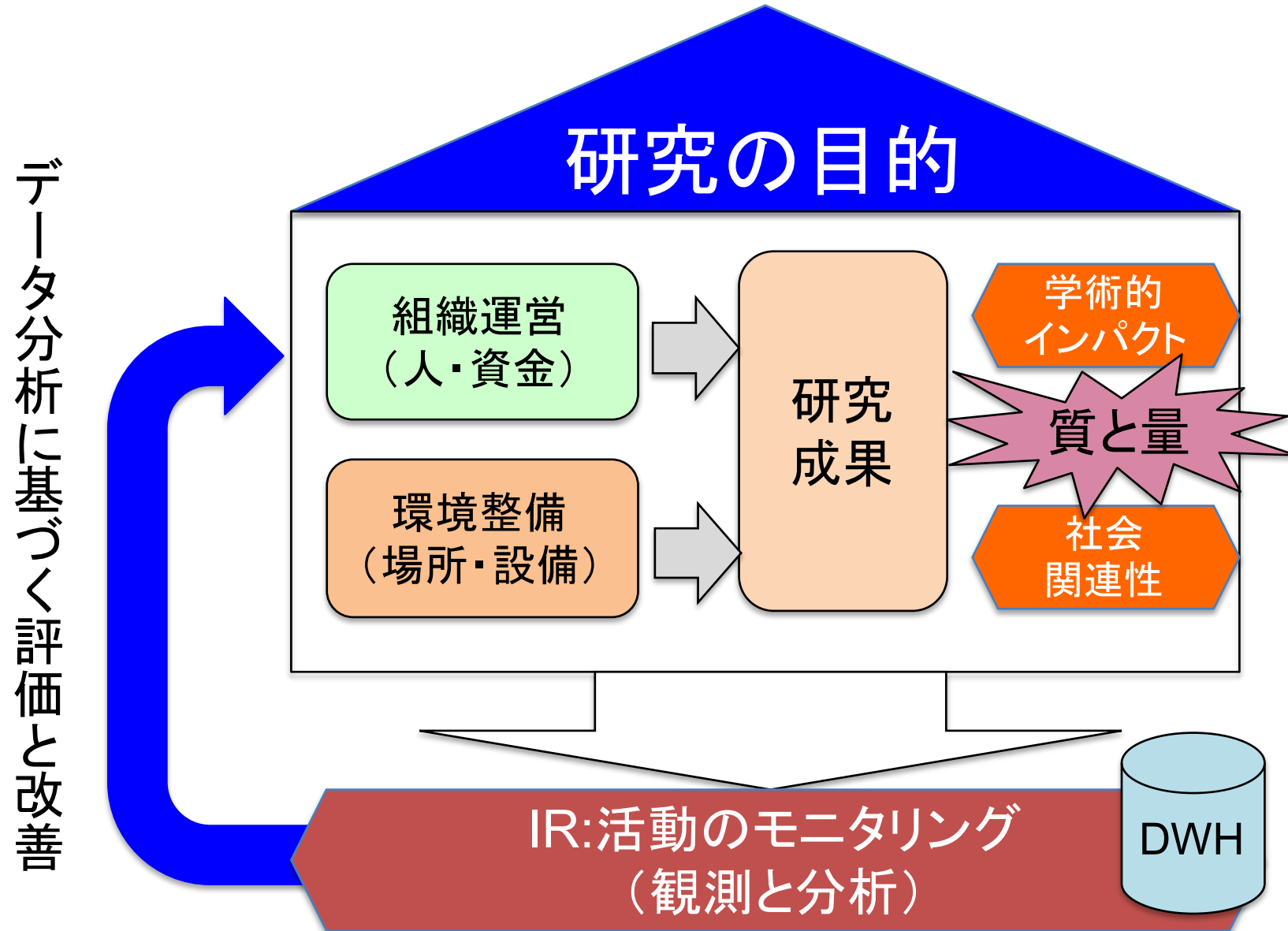


教育の内部質保証：分析の枠組み

researchmapシンポジウム2015

出典：九州大学大学評価専門委員会資料より

目的：研究活動の質保証（質の向上）



研究の内部質保証：分析の枠組み

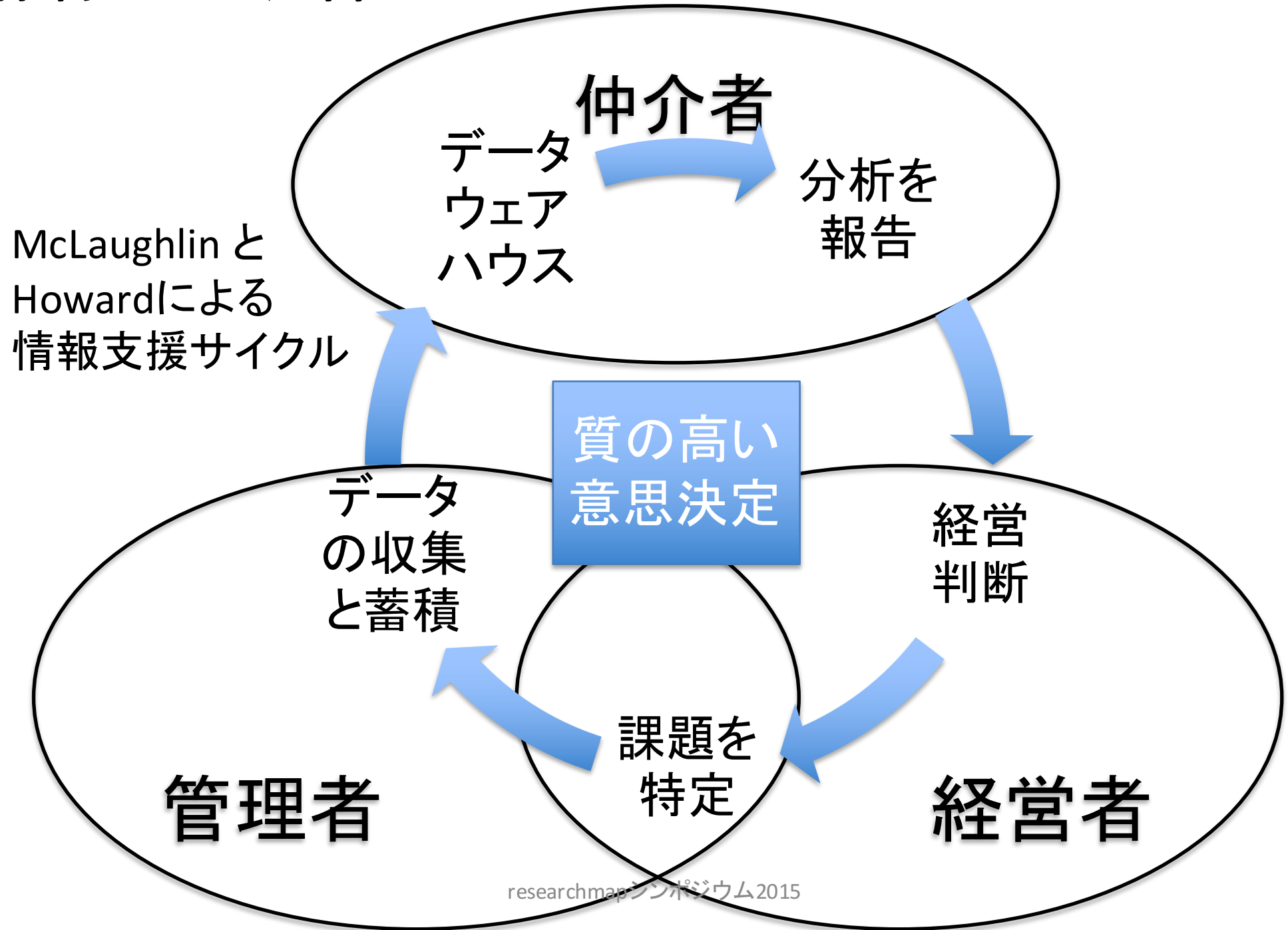
researchmapシンポジウム2015
出典：九州大学大学評価専門委員会資料（九州大学 関口教授）より

IRとITのユニット(または担当者)は必須で、それを統括する組織(またはディレクタ)がいます。

メリーランド州立大・IR director談

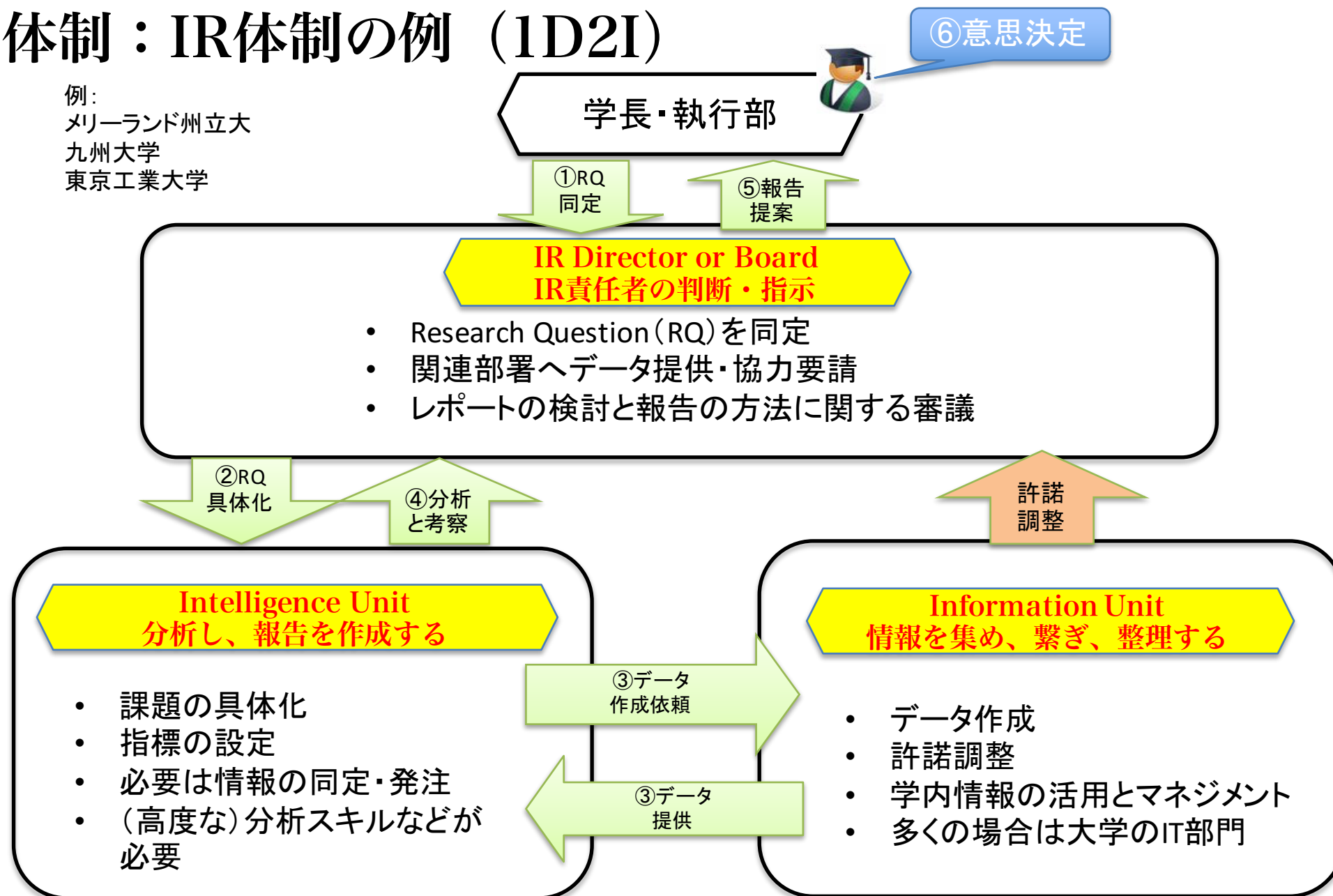
IRの体制

体制：IRの運営サイクル



体制：IR体制の例（1D2I）

例：
メリーランド州立大
九州大学
東京工業大学



コンピュータサイエンス、数学、統計、データマイニング、可視化、そして
依頼者との課題の共有

ーデータサイエンスに必要なスキル

IRのスキル

スキル：大学情報の分類例

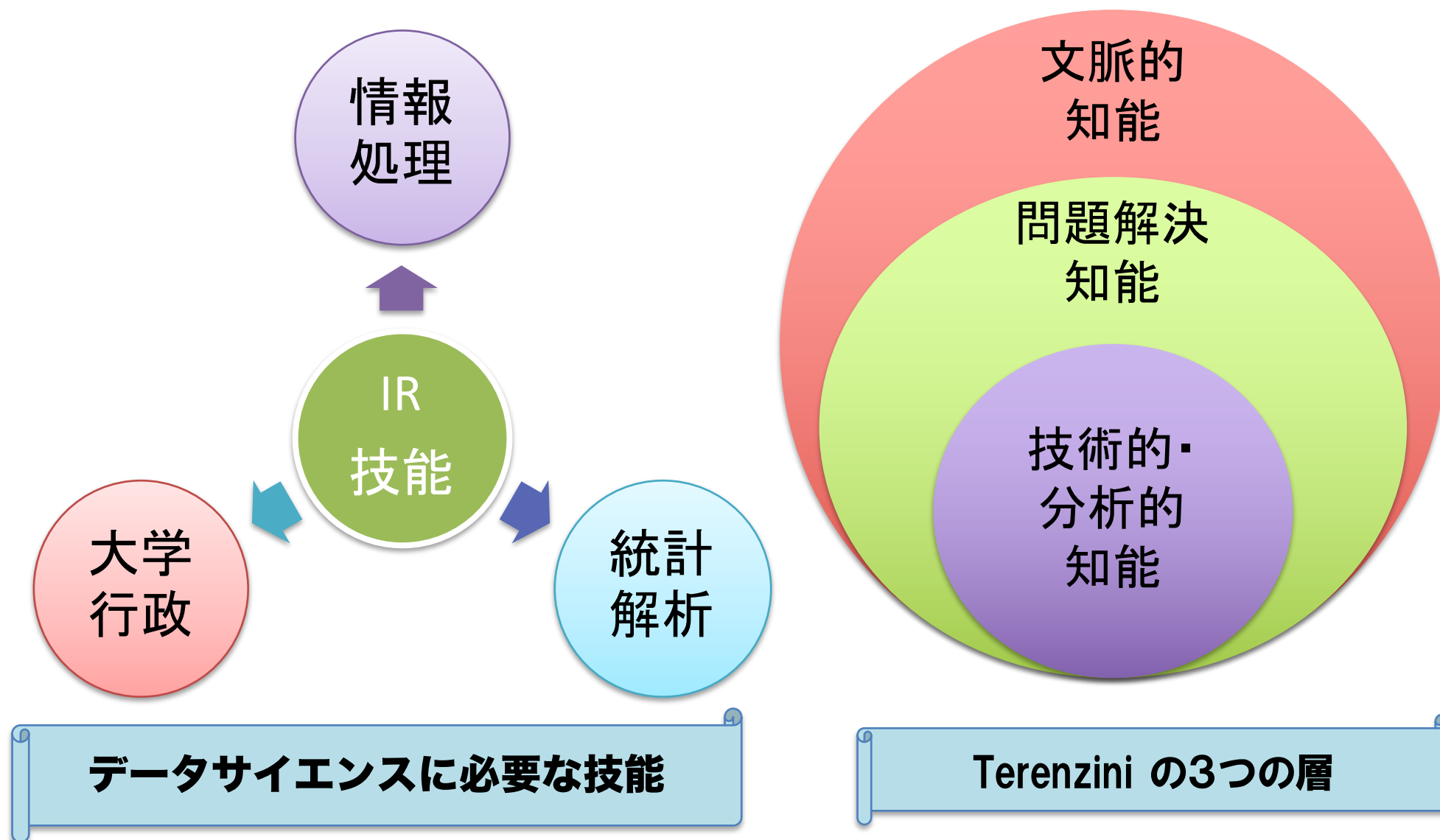
	未構造化情報(テキストデータ)	構造化情報(数値データ等)
個別情報 (担当者無)	- 研究室や教員個人HP - 教員個人による活動記 - 論文などの研究成果物	- 教員データベース - シラバス - 授業評価アンケート
組織情報 (担当者有)	- 学則、内規 - 委員会資料 - 大学評価の各種報告書	- 成績データ、学籍データ - 人事データ - 研究資金データ

スキル：期待される技能

3つの層（P.T.Terenzini 1993）

- － Technical/Analytical Intelligence（技術的分析的技能）
 - 高等教育機関や研究機関で用いられる用語や組織統計の理解。
 - 分析集計に必要なソフトの理解。
- － Issue Intelligence（問題解決技能）
 - 組織における課題の理解。
 - 分析調査と課題の解決方法の提案。
- － Contextual Intelligence（文脈的技能）
 - 組織の文化に対する深い理解。
 - 「誰に提案すれば、実質的な解決に導けるか。」

スキル：IRに必要な技能や知識



大学IRの発展のために

- 国際会議

5th International Conference on Data Science and Institutional Research 2016

July 10-14, 2016 | 熊本市

<http://www.iaiai.org/conference/aai2016/dsir-2016/>

- 研究集会

第5回 大学情報・機関調査研究集会(MJIR2016)

2016年7月11-12日(予定) 熊本市

<http://mjir.info/>